

# 4 トヨタネ瓦版 2019

トヨタネ株式会社 本社：豊橋市向草間町字北新切12-1 / 〒441-8517 / TEL0532-45-4137(代) / FAX0532-45-4494  
 社内報：第31号・発行所：総務部：編集・構成：朝倉芳則  
 URL <https://www.toyotane.co.jp> Email : [info@toyotane.co.jp](mailto:info@toyotane.co.jp) 写真：海（宮古島）

## 平成から令和へ

2019年5月1日年号が平成から令和に変わります。弊社は4月決算、しかも前52期（2018. 5. 1～2019. 4. 30）は会社創立50周年に当たり、様々なイベントもさせていただきました。新たな50年に向かう最初の日に年号が変わると言うことは、とても意義深いと感じます。これからの50年、もっともっと良い会社にしたいと心から願っています。めまぐるしく変化する平成の30年を大人として、社会人として過ごせたことは（昭和32年生）、本当にありがたく、幸せだと感じています。



0歳を過ぎた自分が証明しています。食欲、おいしいものを楽しく食べたいという欲求が何ものよりも勝っていることを自覚できるからです。弊社は引き続き「食」の分野で、しかもその入り口である農業、農家への奉仕を通して食料生産に役立つ会社であり続けたいと願っています。

川西裕康

平成30年の最大の変化は言うまでもIT・通信革命の30年、1989年はワープロ習い始め、ポケベルすらまだ普及していませんでした。衣食住は人が生きるための3本柱でしたが、その3つよりも重要なのが情報（通信・IT）となりました。経済的には失われた30年と言われる、個人の可処分所得が上がりません。総需要が増えず、むしろデフレ社会の中で農業及び食料産業は生き延びる方策を模索してきました。そして少子高齢化、2008年には日本の総人口はピークアウトし、2019年は年間で40万人以上の人口減少が予想されています。日本はもはや「量」や「数」の力で世界に立ち向かっていくことはできません。「質」そして健康、更に次世代に残せる日本独自の「美」に目を向けていくことが肝要と思っています。国内の食料総需要は減少を続けるでしょうが、安心安全で質の高い国産農産物を求める国民の目線は不変と信じています。すべての動物にとって、とりわけ人間にとっては「食」はますます重要になることは疑いありません。6



### 『マルス』ブロッコリー新発売特別企画

『バンベルでモンベル』が当たるキャンペーン！  
 花の盛りもあわただしく去り、いよいよ春も深まってまいりました。

弊社でも春種の季節が終わり、秋種のご注文にお伺いする時期が近づいております。

本年の秋種で特に力を入れて販売させていただきたいのが『マルスブロッコリー』です。



『マルス』は2月～3月に収穫ができる晩生のブロッコリー品種で、3月の気温が上がり始める頃でも花蕾の形状が安定し、品質と締りが良い弊社イチオシのブロッコリー品種です。

本年の7月より販売をさせていただきますので是非ご期待ください。

その『マルス』の新発売の特別企画として『バンベルでmont-bell』と題しまして、mont-bellのフィールドレインジャケットが当たるキャンペーンを行います。



4月下旬よりお配りする弊社カタログの裏表紙で詳細はお知らせ致しますが、

『マルスブロッコリー』、『バンベルブロッコリー』、『晩抽みつき甘藍』の生種2000粒、コート種子L5000粒をお買い上げ頂いたお客様で、商品に貼り付けてある応募シールを専用の応募ハガキに貼ってお送り頂きますと、抽選で10名様に雨の日でも快適に農作業ができるmont-be11のフィールドレインジャケットをプレゼントいたします。

この機会に是非『マルスブロッコリー』、『バンベルブロッコリー』、『晩抽みつき甘藍』をお試しいただいて、ご参加頂ければと思います。

たくさんのご応募お待ちしております。

坂神和孝

仕事の見直し

この時期は年度や組織が変わる・方針や計画を作り直す・新入社員を受け入れるなど、日々の業務の中でも仕事に対して考え方を見直す機会の多い時期です。同じことをしているだけでは、現状維持ではなく徐々に付加価値が下がっていく（世の中の価値観も変わり置いていかれる）ので、この時期だけでなく常に見直しを本当は行っていく必要があります。



そうは言っても常に見直しでは普段の業務はたいへんなので、方針に沿ってやることを決めて、作業に落とし込んでいく必要があります。しかし、やることを決める時に、どうしても気持ちの弱い人は楽な方向に行きがちです。



私が良く参加させてもらっている小宮コンサルタントさんの話の中で、「楽」と「楽しい」は同じ文字だが、楽な仕事は楽しくないという話が出てきます。楽な仕事は誰でもできる仕事なので、付加価値も少ないのと、仕事をしていてもやりがいに繋がらないからです。

今年は働き方改革としても大きな動きがあり、休みをきっちり取ることに目が行きがちですが、休みをしっかりと取るためには仕事をしている時間は今まで以上に成果を出す必要があります。今年は私の周りも組織変更があったので、アウトプットを意識した取組みを進められる体質にしていきます。

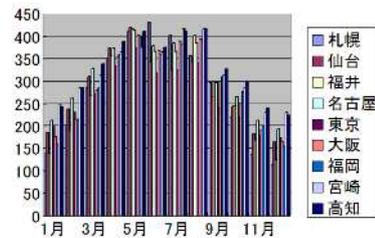
三浦慎一

ナーセリー通信～4月

桜の季節から、風薫る新緑の季節へ。身の回りの様々なところで、季節の移り変わりを感じます。ナーセリーのハウス内も確実に季節が春から夏へと進んでいるのを灌水量、作物の生育スピードなどから感じます。



日射量に注目してみると、2月に入るところから徐々に上がり始め、3月中旬以降、夏とほぼ同じ水準に達します。



気温や湿度が上がり、夏本番を迎える前のこの時期は、天候も不安定なうえ、管理作業するスタッフも含め、作物も夏の暑さに慣れていないため、状況に合

わせた細かな管理をすることがポイントになります。

シーズン、栽培品目に問わず、接木苗の生産において、接木前の苗を健全に生育させることが最大のポイントと言われており、過度なストレスを与えることなく、接木までの育苗を行うための工夫をナーセリー課で議論しながら進めて



おります。

東海地区は日本の中でも日照時間、日射量が上位にランクインしており、恵まれた条件のもと、しっかりと栽培方法、設備で安心して栽培していただける野菜苗を生産するために生産部一同、一丸となって努力してまいります。

内藤寛文

「はじめての野菜づくり」

4月13日に豊橋市市民ふれあい農園多米農園、石巻農園、神野農園3箇所で開催された今年度第1回目の栽培講習会を行いました。



各農園とも講習会は約1時間で、おもに今年から市民農園を借りた方対象になります。とは言え、2年連続で受講して下さる方もいらっしゃる

るので気が抜けません。受講者は、老若男女幅広いです

が最近の傾向として、20代30代の若い子育てファミリーが少し増えたように感じます。あと6月は夏野菜の管理、8月は秋冬野菜の準備、10月は秋冬野菜の管理と年4回の講習会を予定しています。

今回の講習会のテーマは、「初めての野菜づくり」。土づくりと施肥、苗や品種の選び方、夏野菜の育て方のポイント（トマト、トウモロコシ、サツマイモ、きゅうり）です。初心者の方にわかりやすいよう専門用語はなるべく使わず、土作りと施肥を料理の味つけに例え、苗の選び方や野菜の育て方を子育てに例えて説明するなどの工夫をしました。受講生の方からは「病気や虫に負けないよう育てるにはどうすれば良いか?」「化学肥料を使わず



に堆肥だけで野菜作りをするにどうすれば良いか?」とか「本に書いてあることと講義内容に違うことがあるけど本が間違っているの?」などの鋭い質問から、「育てている野菜がこれで良いか見て欲しい」「お勧めの店を教えてください」などの質問もあり1時間あつと言う間に過ぎてしまいました。



普段、会社の業務ではお客様に商品説明や栽培のアドバイスをする際は、専門用語を使って説明することが多いのですが、説明内容によってはお客様にとって身近なことに例えて説明することも必要だなと気づきがありました。

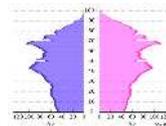
林 總喜

入口で必要事項に記入、受付をして投票権をもらい記入、投票箱へ入れ終わり。数分の出来事です。結構多くの方が投票に来られます。日曜日にわざわざ投票所に行くのも嫌のものです。これなら時間の無駄もなく私にとって一番良い方法です。早くネットによる選挙にして欲しいものです。投票率の改善の方法として行く行かないで差別化する。例えば投票した人には消費税還元券を発行して確定申告で投票に要する経費分が戻る。行かない人に罰金という方法もあります。根本的には良い政治をするために人選が重要。何しろ行く行かないに関係なく私たちは税金を払っています。経費はかかります。その点承知しておくことです。タダではないですね。現実問題今後投票率は下がり続ける? どうしたらいいんでしょう?

【投票率を改善するには】・・・【事例】選挙管理委員会には投票率向上のための「方策」と「数値目標」を掲げる。現在の任期4年を数値改善で評価して人選を任期途中でも更新を図る。

議員にも有権者にも責任があります。伝えること。議論すること。どうでもいいことは多数決。

大事なことはノー多数決が鉄則。



フリー百科事典

『ウィキペディア (Wikipedia)』から第1次、第2次ベビーブーム世代が多いです。(2016年データ) 統計から考えると面白そうです。人口構成が逆ピラミッド。

朝倉芳則

### 言葉ハンターが感動した「整正美化」

昨年のTV「プロフェッショナル～仕事の流儀～」

ことばハンター飯間浩明さんという人が出演されていました。ことばも探す人いるんだ～と思い見ていました。この飯間さんは辞書編纂者、なるほどです。色々な仕事があるもんだと思いました。TVで取り上げていたその言葉とはこのタイトルの「整正美化」。始まりは今から60年以上前にさかのぼるようです。

インターネット検索では最初は旧国鉄秋田局の輸送長が「雪解けの後始末をするため」に整正美化運動を始めたと言われているようです。旧国鉄の工場現場で使われていた言葉のようです。整理整頓だけではなく、作業も美しくという標語のようです。凄く感銘を受けて今でも確りとインプットされました。

また当社には全社で行うお掃除クラブがあります。始まって18年くらい? 毎日ローテーションで掃除を行っています。まだまだ伝統にまでは至っていません。続ける仕組みとしてお掃除チェックを毎月行って確認し合っています。結果が出るのは50年後。社の1世紀です。ヒストリーです。



朝倉芳則

### 最近の投票率を考える

長年投票率が下がり続け最近では5割を割って場合によって3割台、何ともし難い値です。単純に3人に1人が投票に。昔から20～30代はあまり投票所に行かなかったと思います。この低さは若い年代の人口減が拍車をかけて低いのでは? 昔からそれほど若い人は投票には関心はなかった



と思います。そのような人たちがスライドして押し下げている可能性があります。自慢ではないですが殆ど行かなかったと思います。現在は関心はあまりないですが期日前投票で参加しています。これなら嫌いな私でも参加できます。本音で推薦する魅力ある立候補者がいるわけでもない庶民派の人たち。こういう人たちは安全ではありますが人とは勝手なものでカリスマとか毒気のある人に魅力を感じるものです。時には毒を以って制することは大事ですが、ただしそのつけを払うのは私たち有権者です。そこは承知で投票すべきです。原則プラスマイナスとんとんです。先ほど期日前での参加ですが、今回は告示翌日に投票しました。当然選挙のお知らせが届いたのは投票翌日、その案内を待って行くとなると告示3日後くらいが最も早い投票。私が帰宅途中で投票所に行き、

トです。当社ホームページでも紹介。

## 一眼レフカメラのメンテナンスについて

一眼レフカメラの良いところ画質が良く奥行きがある。



確かに綺麗です。最近のスマホは画素数もかなりのものであるが編集する側だと一眼レフカメラが良い。

ただし一眼レフの欠点はレンズ交換で周囲環境に影響され撮像素子（センサー）が汚れてしまう。

定期的にメーカーや専門店でクリーニングが必要となる。10分程度で出来、費用として2千円ちょっとでした。メーカーのセンターに送ると費用と日数的（場合によって1か月以上の場合も）に相当掛かり近くに出れるところがあればクリーニングをしてもらおうほうがよいですね。専門店で洗浄状況の画面を見ていたら結構汚れていました。肉眼では見えませんが少なくとも1年に1回は必要では。その他日常的にはSDカードなどの初期化（フォーマット）



は画像削除として行ったほうが誤作動は起こりにくいと思います。例えばアクセスエラーの発生がなくな

る。「設定はスパナマーク」のところで画像の初期化（フォーマット）を行う。保管上の注意として電池パックは外してカバー着け放電を減らす。



湿度対策では保管ボックスとしてドライボックスを使用する。

その他背面液晶モニターは撮影後、液晶を傷めるのでひっくり返して収納する。

また撮影時はファインダーを覗いて撮影を行う。

私の場合は会社行事で撮影を結構行います。

5/2経営発表会、7/6上期勉強会、12/14下期勉強会、会社の取り組みで参加している6月開催の豊川リレーマラソン、3月開催の豊橋ハーフマラソン。概ね1行事で200~300枚ほど撮ります。トラブル対策としてメンテナンスと撮影時には非常用として私物のカメラ2台持ち込んで望んでいます。記録、保存が目的です。社内的にも社外的にも重要です。画像を整理して保存・保管・管理運用をする。

朝倉芳則

~~~~~  
ドクターイエローを偶然にも撮影できました！

今の情報時代ネット社会であれば偶然ではなく容易にその気さえあればいい場所で天気なども考慮して撮影が出来ますがそこは気があるかないかですね。偶然で何度か見たことがあります流れ星のように行ってしまうので撮ることも出来ません。スマホを操作している間にピュ



JR二川駅周辺の桜並木を撮影に来た人からの情報で撮影が出来ました。（面識は全くありませんが）当日はのぞみ検測の日のようなのでした。

「のぞみ検測」は概ね10日に1回くらいのペースで「のぞみ」臨時列車が運転されない日に、その臨時列車と同時刻でドクターイエローを走行させて検測を行うようです。サイト情報によれば下りは「のぞみ337」（東京 11:47→新大阪 14:20）、上りは「のぞみ386」（新大阪 16:23 →東京 18:56）の時刻でドクターイエローが走るようです。

「のぞみ検測」の際のドクターイエローの運行予測  
下り：浜松（13:00頃通過）⇒豊橋（13:08頃通過）  
上り：豊橋（17:34頃通過）⇒浜松（17:43頃通過）  
私は上り20190406(17:36)撮影しました。情報通りです。機会があれば如何でしょうか。

「幸せを呼ぶ黄色い新幹線」ドクターイエロー！

朝倉芳則

## 編集後記

もう暫らくで「平成」から「令和」へ元号が変わります。



祝と捉えるのか複雑な気持ちです。色々な情報として書類など平成でも暫らく通用するという事です。なんか変ですが。結構時間が合ったと思います。

以前の昭和から平成に改元は大変だったと思います。ただし当時と比べ物にならないくらいシステムが桁外れに広がりを見せています。対応が出来ないのかも？個人的にはPCや生活面は西暦がメインで標準化をしております。行政的にはやむを得ず和暦を受け入れざるを得なく選択の余地がないです。

世界への標準化を考えると西暦化が必要です。外国や外国人採用を考える見直さなければならぬ事が多そうです。次の世代のためにも。それと新天皇に対して思うこと「象徴」「一人の人間として」、元号が新天皇の負担にならないことを願います。

朝倉芳則

4月23日発行